

KITE 養生法

道具の進歩した今でこそそんなことはなくなったが、ほんの1、2年前までデカイKITEは動きが悪いのは当たり前だったよね。そりゃ新しいKITEを買い換えればいいに決まってるけど、買った道具だもの。使えるものならなんとかしたい。

最近のカイトのパッケージを見ると、少し前のものよりずいぶんバーの長さが短くなってきている。そういえばCoryやLairdの昔の写真を見るととんでもなく長いリール式のバーを使っていたと思う。今年はこのメーカーもバテンをチップに入れてもしくはエアバテンをチップに近づけて大きなカイトの動きを良くしようとしている。この方法は無駄にカイトエリアを増やさず重くもならない。またかなりの微風でもエッジ・オブ・ウィンドウの低いところからニュートラルへ簡単に持っていきける。

写真は18m²のカイトの改造だ。非常に簡単で安く出来、12、14、16で10m²のカイトよりも動きが良くなる。

この改造を行うことでパワーを効率良くカイトのローテーションを早くすることができます。良い位置を探し出すのに多少時間はかかるが結び目をたくさん作り、ベストなポイントを探そう。

新しいラインの取り付けはリングかプーリーで行う。

カイトのスピードを選べ、好みに合ったスピードを全てのエリアで同じにすることが出来る。これでジャンプのタイミングを合わせることができる。

取り付けに良い位置は16m²でミドルストラップから47cm、18m²で58cmだ。これでジャンプのタイミングを合わせることができる。

8.10.12.14m²では3番目のストラップを上につければつけるほど動きが良くなる。でもどこに付けても動きは良くなる。マイラーの補強を入れてストラップの長さに十分な長さで引っ張られても大丈夫な長さにしてみよう。

上に述べたのはSLING SHOT FUEL2001モデルに関してだが、他社のカイトも同様にできる。間違えてもカイトの動きが遅くなることはない。試してみる価値は十分ある。バーを短くするか、バック側のラインをもっとフロント側のラインに近づければ良いのである。

改造したい人は
カゼッコセール 0940-42-7001

